

平成25年度博物館施設評価シート(年度末 施設名 埼玉県立自然の博物館)

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	A
目標値の達成度(80%~99%)	B
目標値の達成度(80%未満)	C

数値化共通項目(全館共通)

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	入館者	一日あたりの平均入館者数	223	人	B	221人×101%	
				197	人		開館日数:309日 総観覧者数:60,948人	
2	利用状況	常設展観覧者	一日あたりの平均観覧者数	223	人	B	221人×101%	
				197	人		開館日数:309日 総観覧者数:60,948人	
3	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	550	件	A	598件×92%	
				566	件			
4	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数	1,371,639	件	C	721,915件×190% (修正目標値*703,665)	
				402,365	件		更新 117回 (修正時 C)	
5	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	176	件	A	119件×148%	
				373	件		掲載件数 198件	
6	効率的運営	経営努力	観覧料および事業等収入額	5,256,000	円	A	当該年度予算計上額	
				5,498,483	円		観覧料:5,033,740円 その他:464,743円	

*平成24年4月と5月のサイバー攻撃によると考えられる数値を除いて再計算したもの

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

必須項目(全館共通)

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料の収集・保管	資料の収集	収集方針に基づいた継続的な収集事業の実施	14	件	A	別紙チェックリストによる	
				14	件			
2	資料の収集・保管	資料の保存・管理	適切な保存・管理の実施	17	件	A	別紙チェックリストによる	
				17	件			
3	展示・教育普及	資料の活用	展示・公開・貸出等での資料活用状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
4	展示・教育普及	常設展示	来館者に配慮した展示運営	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
5	展示・教育普及	学習支援事業	参加者に配慮した事業運営	9	件	A	別紙チェックリストによる	
				9	件			
6	連携・協働	県民との連携・協働	連携・協働の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる	
				7	件			
7	調査研究	調査研究活動	活動状況および成果の公開状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
8	施設・アメニティー	快適空間の提供	施設・設備の改善状況	13	件	A	別紙チェックリストによる	
				12	件			
9	施設の活用	施設の利活用	施設の利活用状況	7	件	A	別紙チェックリストによる	
				7	件			

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

館別独自項目

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠
				達成度			特記事項
1	魅力ある展示	企画展示事業の実施	埼玉の自然情報を発信する企画展の実施状況	3	件	A	別紙チェックリストによる
				3	件		
2	多様な学習支援プログラムの提供	学習支援システムの確立	学習支援体制の充実度	4	件	A	別紙チェックリストによる
				4	件		
3	連携・交流	共催・連携展の実施	共催・連携展の実施状況	9	件	A	別紙チェックリストによる
				9	件		
4	シンクタンク機能	シンクタンク機能の発揮	シンクタンクとしての社会貢献度	8	件	A	別紙チェックリストによる
				8	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークをテーマにした展示・普及事業の実施 ジオパーク秩父に関する企画展やジオスポットでの観察会を継続的に開催し、基礎情報の提供や普及を実施する。 ・関連団体やNPOとの連携 長瀬町環境協会や関連団体との連携した事業を実施する。 ・環境をテーマとした新たな出前プログラムの開発と実施 ポスターと実際の演示による環境に関する解説(移入生物と環境、生活と水質汚染)を実施する ・高校生インターンシップの受け入れ これまで実施していなかった、高校生インターンシップの受け入れを行う。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークをテーマにした展示・普及事業の実施 企画展と季節展示でジオパーク秩父に関する展示を実施した。ジオサイトをテーマにした観察会を継続的に開催している。秩父ジオパーク推進協議会に協力し、ジオパークの講演会を実施した。また、さいたま市でNPOが開催したジオパークの展示に展示資料の提供など協力した。 ・関連団体やNPOとの連携 5月26日に秩父鉄道・西武鉄道・東武鉄道の三社合同ハイキングに協力し、トークを実施。263人が参加。8月2日に秩父鉄道と連携し、SLミュージアムトレインを実施した。7月に秩父鉄道の協力により、船下りを利用した観察会の実施検討などを行った。 ・環境をテーマとした新たな出前プログラムの開発と実施 環境の日(6月1日)に当館で実施し20名の参加があった。また、総合教育センター一般公開日(10月19日)に実施し、383名の参加があった。新年度にむけてメニューの更新を検討中である。 ・高校生ボランティアの受け入れ 8月7日～8日に皆野高校生4名(男子2名、女子2名)のインターンシップを行った。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	21 (11)	総予算額 (人件費を除く)	23,545,000円	職員一人あたりの県民人口	34.3万人
収蔵資料総点数	153,127	事業経費 (上記の内数)	6,130,000円	利用者一人あたりのコスト (平成24年度)	470円
平成24年度 収集資料点数	1,375	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	5,256,000円 (5,235,900円)	県民人口に対する利用者割合 (平成24年度)	0.49%

(注)平成25年4月1日現在の埼玉県推計人口 7,207,748人

平成25年 博物館施設 総合評価

施設名 自然の博物館

	A評価	B評価	C評価
数値化共通項目	3	2	1
必須項目	9	0	0
館別独自項目	4	0	0
総合評価	93% 【53点 $[3 \times (3+9+4)+2 \times 2+1 \times 1] \div (19 \text{項目} \times 3)$ 】		

自己評価総括

評価	<p>数値化共通目標では、「一日あたりの平均入館者数(観覧者数)」は目標値の約88%でB評価となった。これは、雪害により2月の入館者が642人と例年の5分の1程度、3月が7割程度となり、この間の入館者減が大きく影響している。</p> <p>「年間レファレンス件数」「対マスコミ情報発信件数」「観覧料および事業等収入額」は目標値を達成した。</p> <p>一方、「年間HPアクセス件数」はC評価であるが、昨年度の数値約120万件のうち、4、5月で約62%のアクセスがあった。これは攻撃による数値であると考えられ、通常値でないため、評価を行うのが難しい面がある。</p> <p>必須項目と館独自項目では、「施設・アメニティー>快適空間の提供>施設・設備の改善状況」での大型バスの駐車場の1件を除いては、目標を達成できた。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数の維持が課題である。 ・出前授業や野外指導、研修会講師などの受入と展示準備や事務業務との調整が必要となっている。
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展や実施事業の魅力を高め、メディア等に積極的に広報を行うとともに、市町村立博物館等との共催展などの実施により自然の博物館の認知度を高める。 ・利用団体の要望、ニーズを把握し、展示解説などのボランティアの活用を図り、来館者の満足度を維持するよう努める。

評価委員総括

評価
小委員
コメント

・地理的、施設のリスクを抱えながらの運営に、工夫を凝らしながら対応されていることは評価したい。ジオパーク秩父の基幹施設としてその役割は大きいので、基本的な博物館活動を踏まえながらも、館外での地域の各種団体と連携した事業展開を充実することに力をそそぐ必要があるように思われる。入館者の増は、そこから導きだされよう。

・ジオパーク秩父に関する企画展や普及事業、関連団体やNPOとの連携事業などの積極的な取り組みが、入館者数維持に繋がっているものと評価したい。また出前授業や野外活動など学校連携事業への取り組みも評価される。調査研究・展示等の業務とのバランスをはかり、満足度の高い展示・講演会等の企画を実施していただきたい。

・昨年度リニューアルオープンして2年目を迎え、1日当たりの入館者数も必然的に減少傾向になっていくものと思われ、さらに本年度は冬季の大雪による影響も考慮しなければならないが、そんな中での入館者数の目標値88%という達成値は、まずまずと評価したい。また、レファレンス件数は1.3倍、対マスコミ情報発信件数は1.8倍と昨年度を上回り、対外的対応への努力のあとを窺うことが出来る。今後、確実な入館者確保のためにも、地元や関係団体との連携事業を展開されることを期待したい。